

2017年3月期 決算説明会

2017年5月19日(金)

東証1部 4539

目次

スライド番号

- | | | |
|--------------------|-----|----|
| 1. 2017年3月期 決算の概要 | ... | 3 |
| 2. 2018年3月期 通期業績予想 | ... | 12 |
| 3. 当社経営戦略について | ... | 15 |

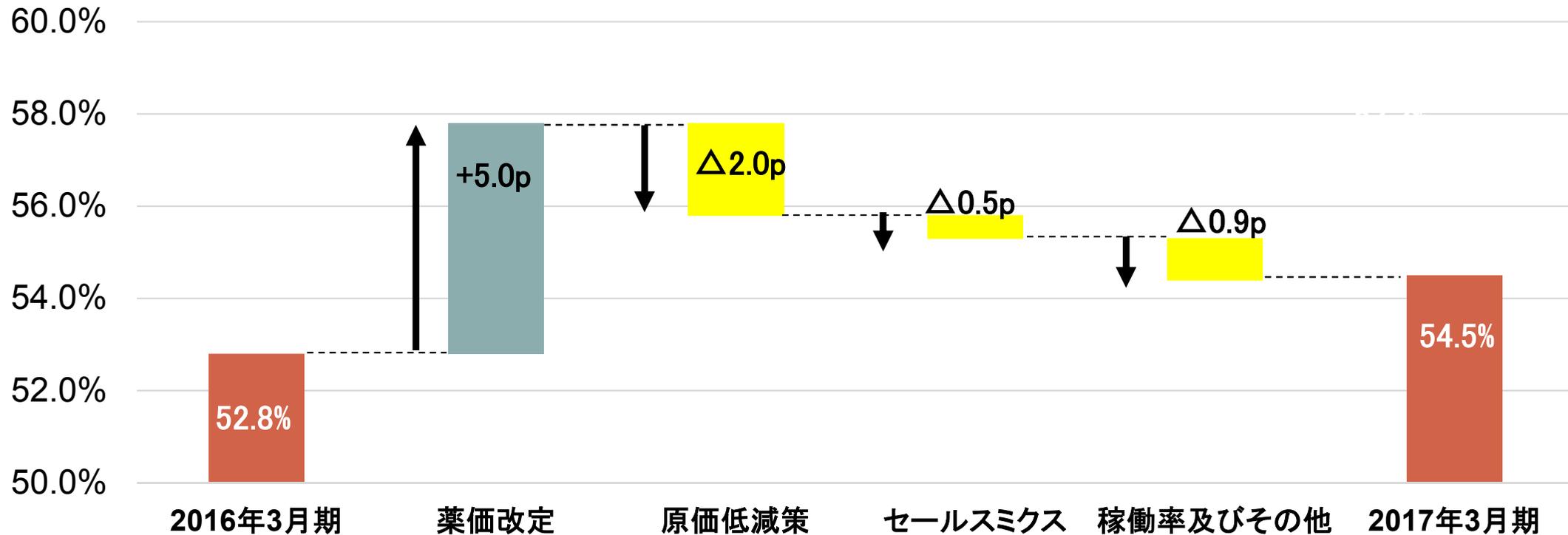
2017年3月期 決算の概要

連結損益の概況

(百万円)

	2016年3月期		2017年3月期				業績予想 (2017年1月修正)	
	金額	構成比	金額	構成比	前年同期比		金額	(達成率)
					(増減額)	(増減率)		
売上高	35,602	100.0%	35,689	100.0%	+87	+0.2%	35,500	100.5%
売上原価	18,803	52.8%	19,449	54.5%	+646	+3.4%		
[原価率増減P]				[+1.7p]				
販売管理費	13,653	38.3%	13,403	37.6%	△ 249	△ 1.8%		
[販管费率増減P]				[△0.7p]				
営業利益	3,145	8.8%	2,836	7.9%	△ 309	△ 9.8%	2,800	101.3%
経常利益	2,945	8.3%	2,849	8.0%	△ 96	△ 3.3%	2,700	105.5%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,961	5.5%	2,054	5.8%	92	+4.7%	1,850	111.0%

原価率増減要因



- 今回の薬価改定による上昇率は+5.0ポイント
- 原価低減策：原薬コストや仕入れ価格の低減への取り組み
- セールスマイクス：利益率の高い品目への積極的なプロモーション

以上の結果、原価率の上昇を+1.7ポイントに抑えることができた。
(前回改定時は+4.9ポイント)

医療用医薬品の状況(連結/荷離)

(百万円)

	2016年3月期		2017年3月期		
	金額	構成比	金額	構成比	増減率
医療用医薬品荷離(①+②)	31,937	100.0%	31,513	100.0%	△ 1.3%
①ジェネリック医薬品荷離	29,016	90.9%	29,204	92.7%	+0.6%
うち自社販売	27,404		27,808		+1.5%
うち導出・輸出	1,612		1,395		△ 13.4%
アムロジピン	3,159		2,865		△ 9.3%
ランソプラゾール	2,182		2,279		+4.4%
ドネペジル	1,712		1,642		△ 4.1%
ラベプラゾール	1,737		1,586		△ 8.7%
リマプロスト	1,487		1,469		△ 1.2%
プラバスタチン	1,260		1,173		△ 6.9%
ボグリボース	1,004		957		△ 4.6%
その他	16,471		17,229		+4.6%
②主力品	2,920	9.1%	2,308	7.3%	△ 20.9%
ウラリット	1,723		1,409		△ 18.2%
ソレトン	928		679		△ 26.8%
カルバン	268		219		△ 18.3%
ジェネリック医薬品事業(①+③)	30,243	—	30,445	—	+0.7%
③ジェネリック医薬品受託	1,226	—	1,240	—	+1.2%

業態別ジェネリック医薬品売上状況(個別/荷離)

	2015年3月期	2016年3月期		2017年3月期	
	売上構成比	売上構成比	売上前期比	売上構成比	売上前期比
病 院(100床以上)	13	14	+19.5%	15	+3.2%
診 療 所(100床未満)	12	12	+2.5%	12	△ 5.2%
保険薬局	75	74	+8.5%	73	△ 0.6%
合 計	100	100	+9.2%	100	△ 0.6%

【保険薬局市場におけるカバー率(個別)】

約58,000軒中 **70%**(ジェネリック医薬品のみの値)

うちDPC病院	—	—	+24.9%	—	+5.3%
---------	---	---	--------	---	-------

【DPC病院におけるカバー率(個別)】

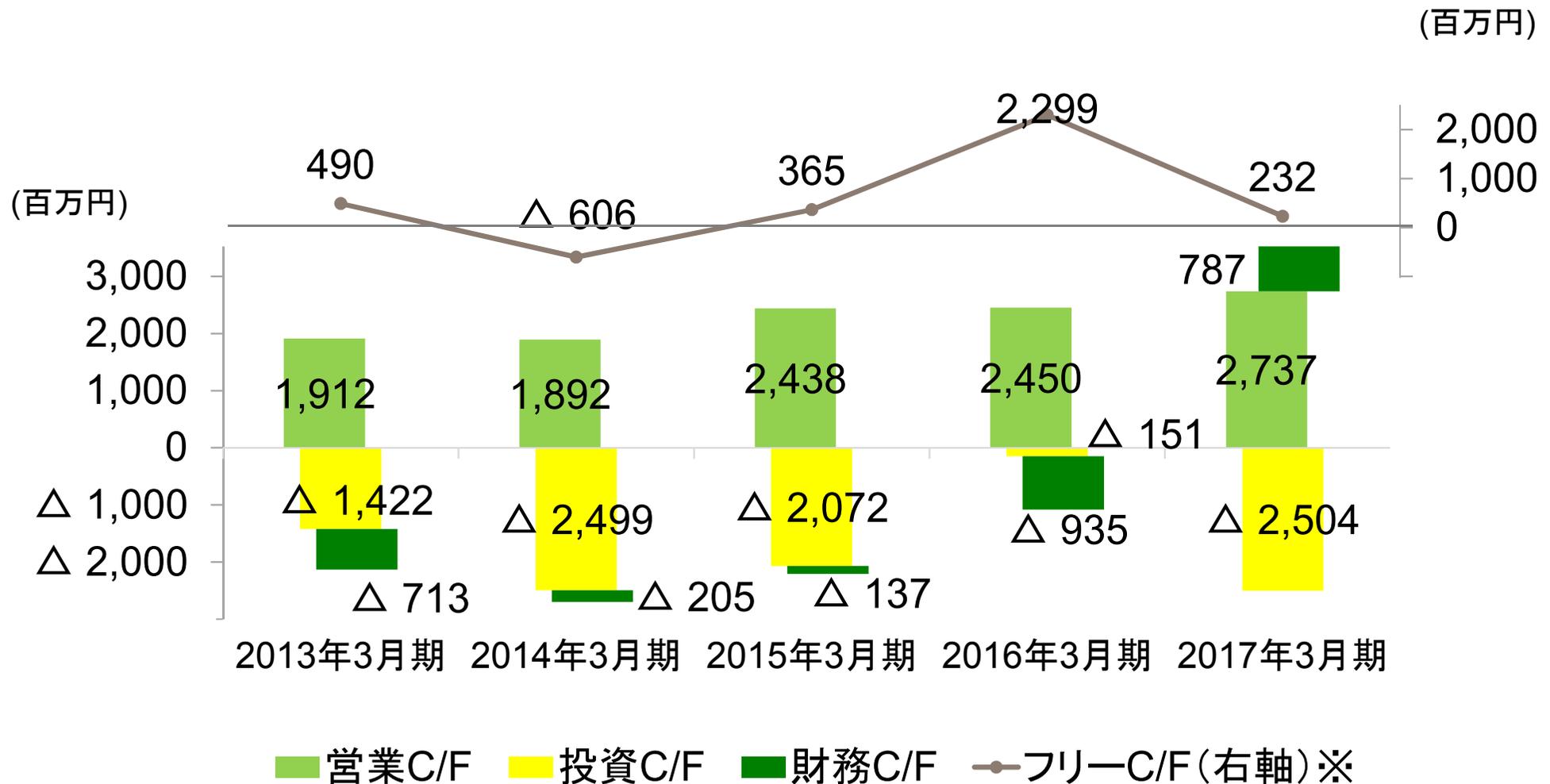
約1,700軒中 **80%**(ジェネリック医薬品のみの値)

貸借対照表(連結)

(百万円)

項目	2016年3月期	2017年3月期	増減	主な増減項目	
流動資産	27,378	29,009	+1,630	現金及び預金 棚卸資産	+946 +525
固定資産	16,263	17,991	1,727	建物及び構築物 機械装置及び運搬具 建設仮勘定	+452 +274 +1,085
資産合計	43,644	47,002	+3,358		
負債合計	27,602	29,646	+2,044	仕入債務 借入金	+99 +1,805
純資産合計	16,041	17,355	+1,313	利益剰余金	+1,659
(自己資本比率)	36.7%	36.9%		自己株式	△ 486
負債純資産合計	43,644	47,002	+3,358		

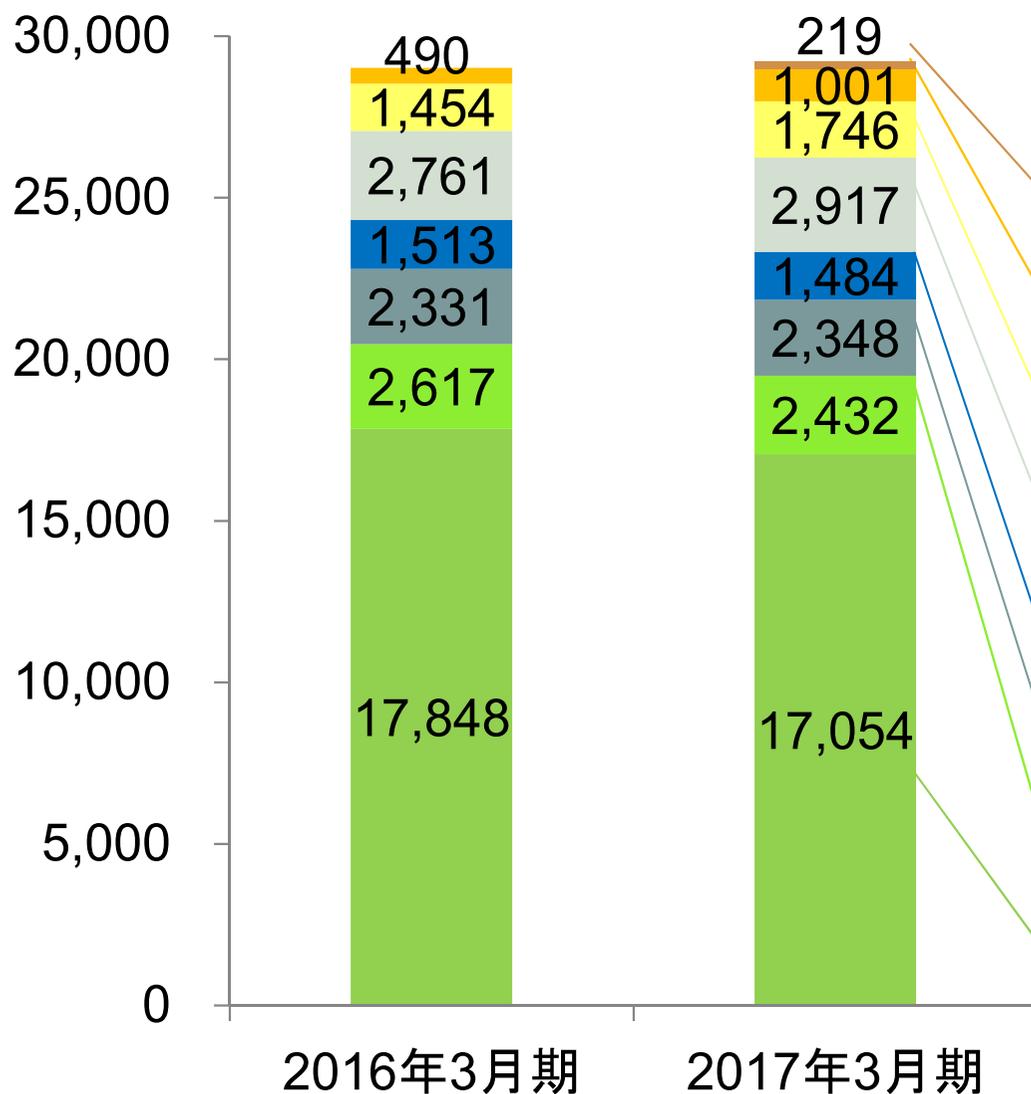
キャッシュ・フロー推移



フリーC/F※...営業C/F+投資C/F

【参考】ジェネリック医薬品発売年度別売上（連結/荷離）

（百万円）

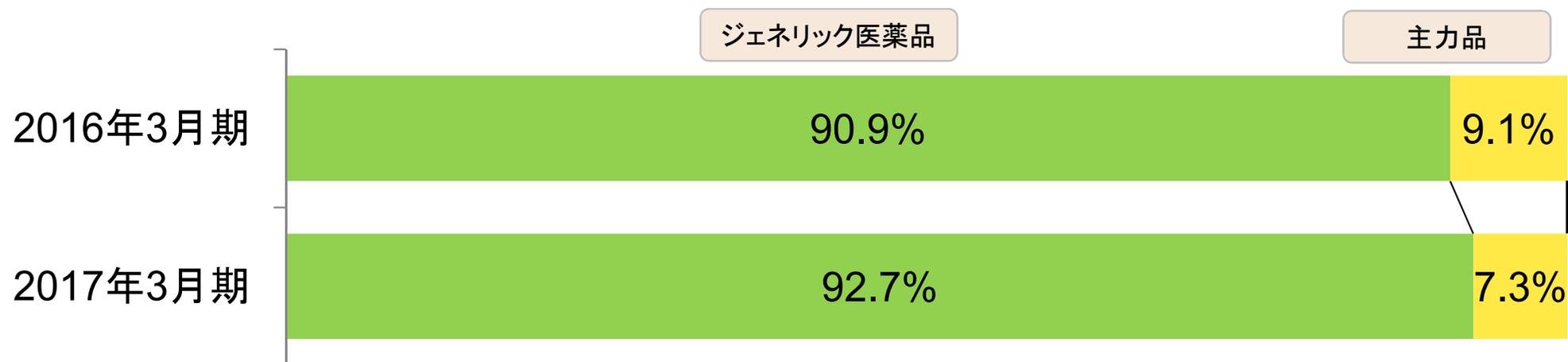


発売年度別前年同期比増減率

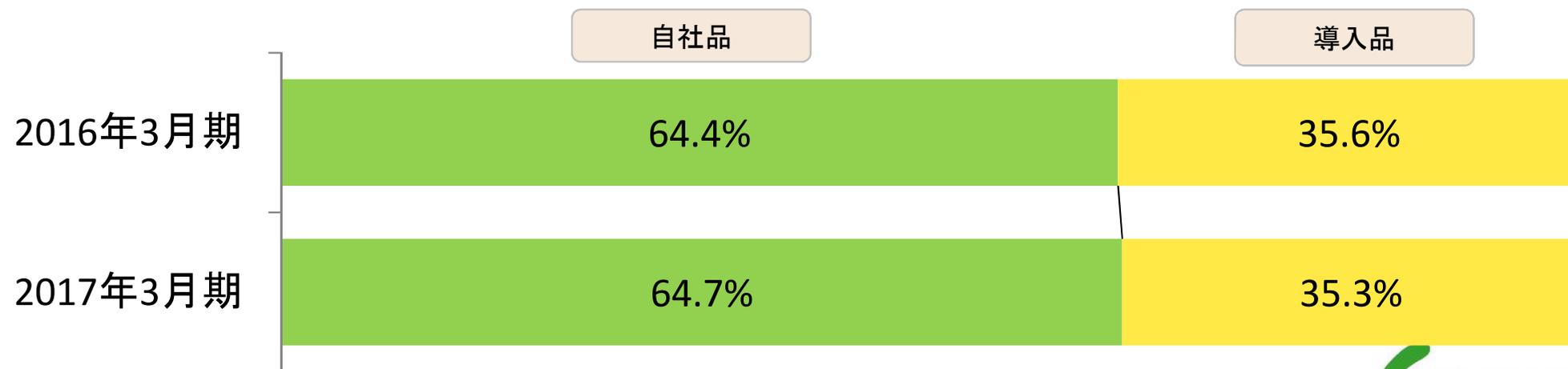
発売年度	連結荷離	うち自社販売
2017年3月期	（今期発売）	
2016年3月期	+104.2%	+142.8%
2015年3月期	+20.1%	+12.0%
2014年3月期	+5.6%	+3.8%
2013年3月期	△ 1.9%	+2.8%
2012年3月期	+0.7%	△ 1.2%
2011年3月期	△ 7.1%	△ 4.2%
2010年3月期以前	△ 4.4%	△ 2.8%

【参考】ジェネリック医薬品売上構成比（連結/荷離）

医療用医薬品売上に占めるジェネリック医薬品の構成比



ジェネリック医薬品売上に占める自社品と導入品の構成比



2018年3月期 通期業績予想

連結業績予想

(百万円)

	2017年3月期		2018年3月期予想		
	金額	構成比	金額	構成比	増減率
売上高	35,689	100.0%	38,000	100.0%	6.5%
うち 医療用医薬品 荷離	31,513	—	34,700	—	10.1%
(ジェネリック医薬品)	29,204	—	32,600	—	11.6%
(主力品)	2,308	—	2,100	—	△ 9.0%
営業利益	2,836	7.9%	2,500	6.6%	△ 11.9%
経常利益	2,849	8.0%	2,400	6.3%	△ 15.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,054	5.8%	1,550	4.1%	△ 24.6%

医療用医薬品売上計画 (連結/荷離)

(百万円)

	2017年3月期		2018年3月期予想		
	金額	構成比	金額	構成比	増減率
医療用医薬品荷離(①+②)	31,513	100.0%	34,700	100.0%	+10.1%
①ジェネリック医薬品荷離	29,204	92.7%	32,600	93.9%	+11.6%
うち自社販売	27,808		31,300		+12.6%
うち導出・輸出	1,395		1,300		△ 6.8%
アムロジピン	2,865		3,100		+8.2%
ランソプラゾール	2,279		2,300		+0.9%
ドネペジル	1,642		1,700		+3.5%
ラベプラゾール	1,586		1,700		+7.1%
リマプロスト	1,469		1,500		+2.1%
プラバスタチン	1,173		1,200		+2.3%
ボグリボース	957		950		△ 0.8%
その他	17,229		20,150		+16.9%
②主力品	2,308	7.3%	2,100	6.1%	△ 9.0%
ウラリット	1,409		1,220		△ 13.4%
ソレトン	679		670		△ 1.5%
カルバン	219		210		△ 4.3%
ジェネリック医薬品事業(①+③)	30,445	100.0%	34,000	100.0%	+11.7%
③ジェネリック医薬品受託	1,240	4.1%	1,400	4.1%	+12.9%

当社経営戦略について

3つのMission Plus 1

基本戦略

■3つのMissionによる経営戦略

- ✓ 3つのMissionを実現することで独自のビジネスモデルを確立する。
- ✓ Missionの成果を海外へ展開し、更なる将来成長を確保する。



Mission1 ジェネリック医薬品

情報提供力や製品工夫による差別化を図るとともに、コスト競争力を高め、“質”を追求した特色あるジェネリック医薬品事業を展開する。

Mission2 高尿酸血症(尿アルカリ化薬)

高尿酸血症領域など、尿アルカリ化療法に関する臨床研究の成果を最大限に活用する。
新規尿酸降下薬の開発を進め早期に導出を実現する。

Mission3 新薬開発

疼痛分野などの得意分野に特化した探索型新薬開発を推進し、オリジナル新薬を世界に展開する。

Plus1

3つのミッションの成果をアジアを中心とした海外市場へ展開する。

経営戦略①

ジェネリック医薬品

■量から質の追及へ

- 特長ある製品の開発
 - ✓ 錠剤印字、抗がん剤曝露防止機構など視認性や安全性向上に配慮した製品の開発



錠剤への工夫例

- がん領域への取り組み強化
 - ✓ オンコロジー推進室の体制強化により医療機関への情報提供力を強化
- 製造コストの削減
 - ✓ 高品質、安価な原薬への切り替え
 - ✓ 海外製造の推進

■安定供給の確保

- 原薬ソースの複線化
 - ✓ 原薬ソース複線化を進め、コスト削減と安定供給を確保
- 製造能力の強化
 - ✓ 国内外工場への設備投資の実施により当面における十分な安定供給を確保

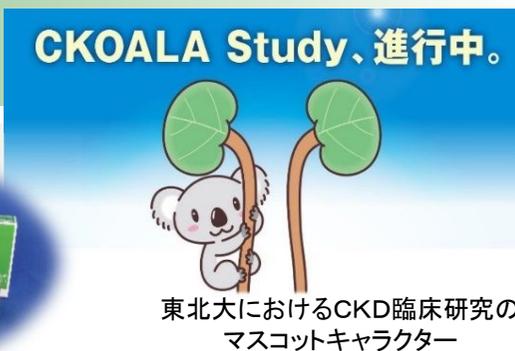
現状	国内フル実装	ベトナム工場稼働後
12億錠	14億錠	20億錠

- ベトナム工場建設の着実な進展
 - ✓ 建設進捗状況と今後の予定
 - 2017年3月 引き渡し
 - 2017年9月 竣工式予定
 - 2018年 本格稼働予定

経営戦略②

高尿酸血症(尿アルカリ化薬)

- ・臨床研究データを活用した啓発活動
CKD(慢性腎臓病)進展抑制に対する臨床研究が東北大で進展中
- ・新薬開発 (NC-2500およびNC-2700)



新薬開発

(青太文字: 今回のアップデート部分)

開発番号	作用機序(ターゲット)	ステージ
NC-2400	PPAR- δ 作動薬 (脂質代謝改善)	Phase1終了(米国)、セレニス社(仏)へ導出済
NC-2500	XOR阻害薬 (高尿酸血症)	改良製剤での追加Phase1を2016年6月より開始、 2017年度中に試験終了予定 (日本)
NC-2600*	P2X4受容体拮抗薬 (神経障害性疼痛)	九州大学との共同研究。Phase1を2016年6月より開始、 単回投与を終え2017年5月より反復投与開始、2017年度内に試験終了予定 (日本)
NC-2700	URAT1阻害薬 (高尿酸血症)	前臨床(日本)
NC-2800*	オピオイド δ 受容体作動薬 (抗うつ・抗不安)	筑波大学、北里大学、国立精神・神経医療研究センターの四者での共同研究、前臨床(日本)

*AMED(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)による支援を受けているテーマ

経営戦略③

海外展開

■ 医療用医薬品

国・地域	承認取得済み	承認申請中
 中国	カルバン	ASEANを中心に 2カ国3品目を 承認申請中
 香港	ピオグリタゾン、シロスタゾール	
 韓国	ソレトン、カルバン	
 タイ	ウラリット	

■ 臨床検査薬

世界最速のアレルギー診断機器 (DiaPack3000) とアレルギー検査試薬 (オリトンIgE) を核として、アジアを中心にマーケティング活動を実施中



上) DiaPack3000
下) オリトンIgE



本資料に関するお問い合わせ先
日本ケミファ株式会社 広報室
Tel 03-3863-1211 Fax 03-3864-5940

本資料における将来の予想等に関する各数値は、現時点で入手可能な情報に基づく弊社の判断や仮定によるものであり、リスクおよび不確実性が含まれております。したがって実際の業績等は、予想数値とは異なる結果となる可能性があります。